



品名 米とぎザル

材料 奥会津地方のマタタビの蔓

技法 底部は二本の材料を一組にして二本飛び網代編。立上げの始まりに一本の材料で二本飛び網代編で編む。立上げはザル(ゴザ編、市松編)編み。二本飛び網代編みは水切れが良く、ザル編みは耐久に優れることからこの技法を用いる。

寸法 高さ 13,5cm × 縁の直径 22cm (手づくりのため、寸法は一つ一つ若干ちがいます。)

特徴 猫にマタタビ。猫が喜ぶマタタビを用いています。乾燥すれば猫は近寄りませんが、半年ぐらいは猫に注意しないと噛まれます。

マタタビは軽量で、水切れが良いことから、奥会津地方では昔から炊事用具として用いられてきました。米とぎザルの他にも用途によって各種ザルがあります。使うほどに飴色に変色します。当地方では20年ぐらいい使用している家庭が大半です。雨季にはカビが発生しやすいので、水を切ってから紐で柱に吊り下げて置くかカギのような物に吊り下げて置きます。

価格 応相談

他に各種サイズあります。